

2026年2月20日

各 位

会社名 J C R ファーマ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 芦田 信
(コード番号 4552 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員経営戦略本部長 伊藤 洋
E-mail : ir-info@jp.jcrpharm.com

Rare Disease Day 2026 への協賛について

2026年2月28日(土)は、「Rare Disease Day (世界希少・難治性疾患の日)」(以下、RDD)です。RDDは、希少疾病の認知向上や、より良い診断・治療を通じて、患者さんの生活の質(QOL)の向上を目指す、この領域における世界最大の社会啓発イベントです。JCRファーマ株式会社(以下、JCR)はこの活動の重要性を深く認識し、本年も RDD 2026 in Japan に協賛します。

JCRは2015年から継続的にRDDに協賛しており、12年目を迎える本年は以下の活動を展開します：

- 協賛セッション

2月28日に開催されるRDD Tokyo イベントにおいて、スポンサーセッションを実施します。当社とスポンサー契約を締結しており、RDD Japan アンバサダーを務めるプロテニスプレイヤーの今村昌倫選手、羽澤慎治選手が出演する動画、タイトル「スポーツでつなぐ想い、希少疾病に光を」を上映します。

<セッションプログラム>

RDD Tokyo イベント内

17時30分から18時00分(予定)

会場：KABUTO ONE 4F ホール・カンファレンスフロア (〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町7番1号)



▲ RDD 啓発ポストカードを手に取る
羽澤選手(左)、今村選手(右)

- ボランティア活動

RDD Tokyo 会場の「うごく、あそぶ」をテーマにしたユニバーサル野球エリア(ルーム1)にて、弊社社員がボランティア活動に参画します。指先の操作でパソコンから信号を送ることで試合ができる、医療的ケア児でも楽しめるスポーツです。

- パネル展示

「ライソゾーム病」を分かりやすく解説したパネルを展示します(パネルは、東京タワー2F FOOT TOWN および RDD Tokyo の会場(KABUTO ONE)、RDD Japan イベント会場(山口県山口市)の他、全国の公認開催会場にて展示します。また RDD Japan ウェブサイトにて公開中です：<https://rddjapan.info/2026/panel/>)。

毎年2月末に向けてJCRグループではRDDへの認知を高めるための取り組みを推進しています。この期間中、国内外のJCRグループ各社においてRDDポスターを掲示し、社

員は RDD オフィシャルバッジを着用しています。また、社内で作成した T シャツやキャップを着用して社員がスポーツイベントに参加するなど、社内外での啓発活動を通じて希少疾病の認知向上に努めています。さらに、本年は株式会社メディパルホールディングスと共同で、患者さんご家族のご講演をもとにペイシェントジャーニーマップ*を作成する社内ワークショップを実施し、社員の希少疾病への理解を深めました。

RDD の精神は、我々JCR 社員の意識に深く根付いています。私たちは、希少疾病と向き合う世界中の患者の皆さんに 1 日も早く治療薬を届けられるよう研究開発に注力するとともに、暮らしやすい社会の実現に向けて支援活動を続け、認知拡大に努めてまいります。

Rare Disease Day (RDD) について

毎年 2 月最終日に開催されている RDD は、2008 年にヨーロッパで設立され、現在では世界 100 か国以上で開催される、希少・難治性疾患に関する世界最大の社会啓発イベントです。

日本では 2010 年から開催されており、17 年目となる今年のテーマは、「ともに、すごす。ともに、つくる。ときに、わらう。 RDD - Ready, Dialogue & Discovery」です。



*ペイシェントジャーニーマップ

患者さんが病気を認知し、医療機関で診断・治療を進める際に、どのように感じ、考え、行動するのかを可視化したもの。

参考

Rare Disease Day ウェブサイト：<https://www.rarediseaseday.org/>

RDD Japan ウェブサイト：<https://rddjapan.info/>

以 上